刷九時世分千葉市郊外陸軍野殿

を観察、同十一時五十分同校將梭

は廿三日午前七時音で約四十日ぶ 般に再り極格の初東上に随行して

りに帰任したが、記者限と貿見、

折衝運絡中であつた江口窓務局長 問題につき産業、法制、文化と各 総督府の掛誤本部として統理或本

集団所において職員、歴生一同と に近郊財富などの酒智および兵器

大要次の如く語り半尉労務の単化。 虚行により原工輸業労務の中略を

学品の決戦 労務関制な軍

重大問題の中心は質に本勢落館制

都としてこゝに新發足する東京都

大東副共榮閥の中核たる常園の首

独に勢務の計畫化、合理に動口、の魔理にある、理論性には壊土計

かくつて來る

のの地震可能は一つに終め到策に

武官山縣有光中佐は廿三日

院頂田徳松中将および同校々 | 會食、十二時五十分間校後、つゞ 田俊吉少野以下島梭職員、墨一いて陸町町空島後に至り、職員な

徒の出理理に到意

らびに悪生に場合像蓬のうへ、墨

源の明存は緊急性を加へるに至り一般の明幹は食気供給地として立つて一般たが、決戦下食糧地産、地下宮一般をが、決戦下食糧地産、地下宮一般に対して健一

東電話】 嬰き遠ひより御差越 | 場下記述ケ原における対容ならび

野砲、防空兩校を視察 御差遣の山縣侍從武官 聞としてみれば、この光楽ある歌。い歌を食ふ者はその歌籍について に巻き風徳は徹岳都を削にした中一よって配着される機構から弱っ白

幸尺

『解ちてし止まむ』の意気は悠々

あがて『狭殿型の陣』に慰徒の

喰はぬ顔で食べてあ 力を傾けてゐる、こ の際に、精白米を何

|て吸収に通るのであらう、い 宏内 地では近つ黑い玄米を食ってゐる

食権の増酸職保に加酸となってる るとき、その樹白米の駅がどうし

仮を平氣で食べてゐる者がゐると

てゐる、それが頻繁に真つ白い細

非國民だ、きっと天の間がいまに 降りるであらう、敗てこの際反省

原徒も女も老人も起ちむがつて

戦闘た心ものがある、しかし、特

知らないくらあだ、一定の分割に

白襟は増加させず

問題は即刻質蔑に移さねばならな

東京都長官に

大達茂雄氏內定

郷案の東京都 東京都長官に任命すべく内定した 【東京電話】 市長、歴朝司政長官大達茂雄氏を

が、それまでは東京都設置準備専同氏の都長官は追つて独合される

情報局參與

設置準備事務を囑託

に廃置し、半点錬成な勿論を

・年島勞筋の皆労種制をの路が種制を

める統計資料につい、附盟

江口局長歸任談

一般の食器でも多くとらう

山に開起の質問をついけて

食器事情を実施しま

入れてゐるに述びない

の肌にしょうと意気こんである

る、運動場も提供して位組暗所

る、そして地方では國民學校も、

地南側に敗闘、

みせるといふ鬼関の失敗艦艇を確一級行した影響改革の暴魔決敗艦隊に側側と帯る殿意でもつて軽慢して「軽勢年限を短勝するなど、さぎに

日米食に天罰必至

河迴した | 鎌して開放り何かの樹で来を手に | する蜂兵も郷液を食べながら戦つくの段闘 | ある大豆米とか、臀部を何處かへ | 外来も食べてある、戦地では苦臓

死力をつくして食机 て星ボたゝく夕ボで

は五時からとび起き

舌喰ふか 喰はれるが、いま 煙電 をもつとく燃やして、質に時間

由にはさうでない者をみつける、

ある、一人の落伍者もなく半局の るところにその意間があつたので 変数士に、或は島軍の一翼に加は

際徒は今こそ感厥起して、敦賎負

は半局原徒の金融に置くのである

の随頭指揮の下、

て資ふのだり別の玉碎の断兵の忠魂についい

その『一行名の道』を敷行して選ふー

落伍、断じて許さず

ナ、成の上にかしろ 配遂行への中核側になるのだ、一趣間も風呂に入れ 製売送への推測力であり、また

繁元後への推進力であり、 また決一立して欲しい

を敷いて脱たがら朝 れを思ふといまのその総質勢烈さ、ることを私は確信してゐる、而し

今半路の恩徒は起ちあがってゐ

つて、大東亜販完選への尖兵とな

は學と行の一際鉄成により、一日

8早く 80徒が社會に乗り出して生

認識せよ、食糧事情

總督の温情に反省せん

西地區剔決感滞を致施しつゝある 开考道中於 (三萬縣出身) 以下() 【海南廿三日回盟】わが〇〇部隊 七十、その他各種赤色施設を取滅 ○中共領員一千名、鹵獲小統三百 一挺身し地下組織の馴抉に不職の るとこもに同地區共産年の基幹 るはめらゆる危険を聞して戦中 月以降山東省中部長山縣の共 これに協力せる最店寮長隊選 を総合するにレニングラート別新

スムイ、ビニルコロド東北方の各ロブ、クールスク西隣百冊キロの 地區ではしばしば戦撃第階と機動 スモレンズク県南七十キロのキー のボルホフ、スターラヤ・ルツサ

して捕虜、肉種品多数をあげ同快を開始しその地下組織を覆滅 出撃前の たげ土を使ふ血やが過ぎられ時に「緊急艦」在のほか酸酸大野、三萬「三種は沈遠、他は長期間傾用不能を行うるを言うを言うだけさせ、久太との原礎順級的服を大威競機、網は判明したいが機器問題のうち ひととさ

じある四種走それでよいか、 四極が強耐症がる親心をもつて同常を促したこの表記診脈説を、大野患療局長と親力敵服罪中診療部長にじめ足の努力を傾けて決慰食熱患動に断診となつてあるこの状、 薄白米を食べてある者はそれでよいか、時間に対して練質でない態度じめ足の努力を傾けて決慰食熱患動に断診となつてあるこの状、 薄白米を食べてある者はそれでよいか、時間に対して緩質でない態度しめぶの確立、敷卵の充質を刺するやう一緒の琺瑯を度割した、簓米と疳蔵に貸じの成別はは二日の本座原芸食書の購上で「著白米を食べてある者」の同様が膨し、また思生々徒の時間に対する繊維なるべき機度に

澤井隊に賞詞 抉に殊励

北支城兵隊討会官ならびに〇〇部一隊である。本に河井球はすでに敗敗にわえり、隊長よりの一日背洞を授取した

際長よりが間を授興された殊勝節

に関づたと独定される、以上に関

レデーエヌベー空軍記者アルバー

ステハニー質によればパレスチナ

國の發展のため新たなる協力

樫

濟 勝所員法を申 済 **統** 主 野 津

制

大大 情 本 経濟統制の全景に国 経濟統制の全景に国

H.

野村策太郎著八5

ウ著 三石巖著館1.6

٤

政画説において盟邦泰國に対

パノンに於ける一般質物列車は

フライターク少佐は次のやう

利して反復行はれ攻撃
ビゼルタ頭與作戦は親

んに行ばれてをり緊張した空氣に

豪國朝野に多大の感銘を與へた

夜でゼルタ隣隣において敵穴地中海方面一、獨容単は社地中海方面一、獨容単は社

【イスタンプール廿三日同盟】ロ

南部イランに騒擾

東岸に進出

烈な戦地無難形が展開され、 | 日をもつて照望三年自じ突入し| 都では窓中域と依行して地上部域| ストツクホルム古一日回訳| 甘一パラクレヤ、イジユーム中間突出 た東部脳脈では依然前線各地で低 赤軍主力陣地に獨軍の强力な楔 ツ東暦に演出、赤街主力戦地に掘時間にわたる攻場ののち急にドネ の波門が照明されたが、郷田は長 バラクレヤ、イジユーム中間突出

敵艦船團を痛爆

力な楔を打込んだ模様だ

管際はもつと大きいかも知能してゐたから獨容軍の取 |日同盟]| 撥統大本

知 (代い、シリヤになって Bis 方に於ける英國の勝連は編々確彰)別、 アンスチナ地 回

同地方の首色フィルザパツトを 属征制圏のため直ちに領域を出動

原復が影器、小統治よび機関銃で

れば南部イランにおいて最近突如 ハラン特派員の報するところによ ンドン來電、デーリーメールボテ

官邸に東條首相を訪問、ピブン

日秦國大師は廿二日午後五時 達することとなり、デイレック **逐し、** 東係 首相宛 メツセージを

製店商大米谷隆三著四1619 製店商大米谷隆三著四1619 大い数、単・原の1 菱を設き設達を設めていため数、単・原の1 菱を設き設達を設めていため数、単・原の1 菱を設き設達を設めていため数、単・原の1 菱を設きがある。

特別な豫開知謝や理解力を

武陵した暴徒は南方に向け進興、

防國家の法律 811・40 方民族の婚姻 81・40 婚姻 81・40 時獨逸法令集 84・80 時獨逸法の婚姻 81・40

社ドンモヤイ 三7. 關ケ設場的趣市京東 六七九五二京東 丘口 智援

方時慶

タ

ける英軍の地中海岸集制に連れて 「ローマ特雷廿二日葵」西阿にお

迫露骨化 英の西亞壓

發に加へ、羊毛の强制質収が開始

させたといはれる

泰國革命記念

石橋

信著國

防

西

洋

近代

戰 史

兵學

Ŀ

個一・九〇 **河** - 九〇

薬部質取物職務際は廿日夜ビゼル へた、現在までのところ研究の辞(ペルリン廿二日同盟) 弾力なる | 五千トンに猛爆を加へ大流線を頻 獨空軍、ビゼルタ强襲 【チューリツヒ特電廿二日發】

獨空軍軍機器機隊は廿日夜ビゼル

寺尾海軍報道沖貫振影、海軍省許可渡第一〇一=置送――海燕とたはむれる海鷲勇士

軍としてイタリーに進駐せしめたと傳へらる

イツは最近〇個師〇〇世

の大軍を新たに本國より繰り出し増援

の廿三日ピプン首相は午前八時か 各地で盛大に現行されるが第

海軍へ來れ

古的一种是国

(機長勝)富田

高層五

人の國祭日である第十一回革命記 「バンコツク廿三日同盟」祭団

> 坂部護 伊藤政之助著

炭田罷業中

によって町縁面壁の受けた顕常をネルソンは廿二日今回の凝田罷練

罷學は、又も呆須なく終了 するに復業する ことになり米國の 炭坑

※國の 炭坑

ンントン來電=米國頭山勢闡組 と發表 米損害甚大

Z W

一戦車競走、馬鶴競技が行はれ、

所で朝市が開かれ市民の群に服

この日パンコックでは早朝から

前線に在りし長官灘照岡本は山本元帥の遺訓:難顧坂藤良信

若き日の元帥と母堂

清閑寺像

次大戦を勝ち扱く決職を示した

提唱により國民に奬励してゐる

上製品・魔製品の展示會などの

鳥羽博く

たカオデン公園ではピブン首相

「ブエノスアイレス廿二日同盟」 築を中止するに決定した たる曾級の結果新協定に到達 信イツキーズとの前後二時間 ジョン・ルイスは廿二日内

は廿一日ジョン・ルイスの復業 、炭田全盤の 六、七、八三ケ月における頻鰕

の市中行進などが行はれ記念行

はじめ呼物のユワチョン(青年)

ユワナリ(女子常年圏)男女

は最高期に達する

時級高が指摘駅棚にあつたため米

| 歌を眺へた複様で蔵時生電脳長官|| | 物定に到業能顕著加助天はすべて|| 関の軍制生命に発出する。 十二日同盟】ワシントン來電に れば廿二日内添長官イツキー

ンヨン・ルイスとの食見の結果新



を解明 印度の實相

商報局参與仰付いる(各地) 総裁、前田総務會長、大尉國務相部を訪問階上級裁案において阿部 送の下に活潑な印度獨立週頭を 開することくなつたがわが政界 るため廿三日午後一時半級政会本 刀層に對しても印度の質相を解 「東京徳話」スパス・テャンドラ

定を見るに至ったので、廿三日正 このほど左の十氏の承疇を得、決一

式委囃することとなり同日午後左

劉事務總長刘山徽吉▲日本出版版統協會本長下村宏▲大政監督

开野前農相

空路入城

出席。同一

名を前に『趙國印度』と随する確認の問節総裁以下各部員の四百餘 臨み阿部派裁以下各省員ら四百へたのち同二時から時局懸談所 など首脳幹部と會見種々思談を 政會を訪問 2 福本日京 描 館 文 博



脚 大下宇陀兒

陸軍少角、製井、忠温を構造機に立ちて、



伊風納村富守横 大地間電上田 溝 佛知十系元常友正次 進郎平三滩恒史 郞

學生諸君よ航空隊へノニアツツ島に散華した英魂。 高杉賀 瀬本屋

☆柳原博氏(柳藤洋行社長)

銘を與へた

運設へ燃箱を振び一同に多大の

五和則 郎郎宣

武運に寄す

集郭 公・神崎武雄 集郭 公・神崎武雄 大学 1000年 1000年

會談座 松向北高 井井村見

月七四十四 海軍病院船·浜本浩

首相は第八十二隅時段長朔頭の施一 書輪に謝意相、泰首相

ある。

法を徴案して流動化せざる以前

学動職貿力化を抑制せんとしつ 中央に於いても朝鮮に於いてもされぬでもない。勿論この點は

> れてゐる翳である。理由は無顧 その政格を引上げても、物質高 たものであり、米、麥、藤等は

は當局の趣旨は大部分汲却され

空閑地の利

ひえなどの雑篆を耕作栽培せん

栗 そば、きび

とするものである。 めて、大豆、

営然である。

酸に一役を買ふといふとは正にその 遊休土地が 駁時食様の増 もの目壁するところであらう。

いを確むに至らなくても少くと

殿時食棚の地

てしまふことになる。だから天

用ご聖汗

かになる管の盟山村の便中工合 て然らばその引上げに限じて温 に一年の理由があるのだ。果し

い生活工夫も大いに合ねばならぬと思る。

意を要するのであって此際新し であつて見れば一般も餘程の決 つ、他方取時地産に挺身するの 度の生活水準の切下げを行ひつ

整國環などの各隣員で勤労せし

が可成り残されてゐるとは誰し 運動場やゴルフ場といつた土地 替へによって生じた不用遊休の 地や個官様式の一般時間能への切

その通りであるが、何分にもこ

人金その他の方法、換記すれば 人懸だから、そこは企業整備資 出される金が、豫策闘から見る る。これは企業整備に伴つて放

いふやうな言葉が値はれてゐ

最近一部に『整備インフレ』

る。從つて結局は生活資金での

水敵物に関して天印腔部の瞳化のある。越校時はこの窓味に於って、今般質格を引上げた原林

他やむを得るる理由によって十

說社

天引貯蓄の示唆するもの

十時世分より同校歌練一た 一周に照面を修達、池

練場で行は北池河西など、観察し

いよく事大となって來た大東亞歌幾行上所鮮の負荷値命は

てるる。 解離としても韓兵側施行、大きく人口問題を奏へて行くが、
 対 老人の手でやってをり更に全度は、陽工願別額等人口の東定、こか公り、就後の多く法婦人、、調察、再門底、門村續縮再線成に立てるが、

い、信集を生む根據がある際で

事情は全く襲るけれども、これ 水磁物の質格引上庁はこれとは ある。ところで米婆その他題材

ある。 もと 〈 恩慈物質経策は 率を五分が至七分引上げたので

時經濟政策としての國家の親心

萬町歩を照動員して新地に仕立 **鰤口の遺地、河川敷地、遊休不** が出來上つた。この計选による

て、これに學生、児童、衛年の

用の運動場など凡ゆる空間地 と、蠍道用地、工場建能用地、

緊急物質到策は

ゐるのであるが、今回その天引 を聞ることになった。これは質 は昭和十五年八月より質施して

家の經對至上命令に基くものでての食糧問題の如さは、本來國

計型の膨脹は相當顕著である。 近時一般物質の 目蜷による 生

にも拠らず一方に於いて相管程

配段階を職ひ抜く戦力の一とし 四格操作機とは別の偸理的意味

が含まれてゐる。

盛し今日の決

認ましい。然し乍ら蘇って考ふ が込れば、これぞ各人が自競的

るに都市といはず既村といはず に他の貯蓄に振り向けることが

が協致され、臨々その質行計建

行されるといふことは洵に結構 かへる大規模の、統制ある。空

に劣い。統制經濟の當然なる制 に動員し得る祭隅地は朝鮮に特 なことくいはねばならぬ。耕地 開地利用町猫が全般に取って置

第八十二臨時議會に於いて 作による食糧の増産については

自由經濟時代の採貸本位閥乃至

ある部だがそれでもかくる質様

重要物資の均産確保を目標とし

その無浮動脳貿力化しては

れ延いて農山村の使中工合が脳 また相背巨額の結絡金が変付さ

> つたとが認ましい。それに何よ に來るべき署中休暇の利用とい といふことも大いに宜しく、特

の人士中より候補者銓衡中の所、 銀子改建して民間人を委職、宣販「【東京電話】情報局ではさぎに諮」 筒報の基本事項に参班協力を求め が、今回これとは別個に新たに 高級裁の手許で民間經驗達職 高参照を置くこととなり天羽

東亜經濟製設省の常設機関である

「壓民への感謝の念さへ湧き出 人東距經濟委員會に協力するため

が、その医療的動質が除りに専 近來職々指摘されることである あらうといふものである。たい もに一石二扇も三扇もの効果が すとしたら動鋭精神の培養とと 過機同級談會朝鮮委員毎に新設さ

中、選を照理事官、内勢理事官節内勢・法将本業後内勢省に入り、六分・新一法将本業後内勢省に入り、六分・新一次の一次に力に対した。 東京都設置車開幕務を収許す 大達茂雄氏

そこから一種の弊派が過きる。 門的になり過ぎ、現實に削せず

否、古な舌定に土に親しむ幾日 で土に親しめる結果とならう。 ことはそれらの人々をして響か て確保される建前となってゐる たゞ一つこゝにあると思ふ。

いて開催、内地側から井野前殿相 報の通り廿八、九の兩日京城にお 鎌倉式画に第一回思惑分科的は氏 れた『大東亜經濟朝鮮東門委員會 **大野前襲相の日暮は左の如し**ではじめ政府関係官が総席するが

る空間地に秋の収穫が豊かに稔 の指導ようしきを得て、あらゆ

から除外され、自分の食物とし つて得乏収穫は一般緩物の供出 りも、これらの人々の聖光によ

このほど東係が相より内茨御原許政府はかねて懺頭絵館中のところ

を經て元内勢次官・現昭阿特別市

は、関れ、またそれほどこの本

收しもつて成力増強にふり向くる 補給金支出をめぐる臘布音金を吸いあるな規度の現金支出および米環

決定し故職の引撃関資制度を確立するためにさきに故職回収要制を

した総督所は、廿三日附を以て故

べく新、る万須をとりついある

で築成

個人においては、宣統消費さるべき は異覚これは資金の放出であると

三國商會株式

[統吉]

100円

大原體體

黑河

(3)

▲ 財 ふ 鑛・注精衛氏

Ø

元献が明祖は人年四日

座

談事堂

ることである。この根本的な多への一人でも多くが此隣に骨を駆の

が開始を持ちている。
は、一般のでは

競腦士尾莊

州を相管高度で受却したものな職金をうけるものまたは生産股

石油の一

ある、また貿易管理と偽物語

田 四回 瀬田 郷

あたが原則的観察に到選、

遡入す、

になつた

例留を開催、鈴木城大教授の『企會職器に翻立総會を棄ねて第一回

世六日初總會 縱新會創立

る勘演を顕微後ニュース、文

を行ふべて崩敗戦と戦闘を進めて |に向ひ磁質時常局と折倒すること

鮮滿間に諒解成立

ほど諸般の準備を完了したので、

かねて誤解を進めてゐたが、この

5 目につき打合せをなすため本月末の がぶ入に励する決消條件での他細の がぶ入に励する決消條件での他細 ル至七月上旬經濟耶聯宗官が京城 一新製の戦歩建設に各種する目的の 門につき打合せをなすため本月末 一動期的な耳線成功にある半島繊維

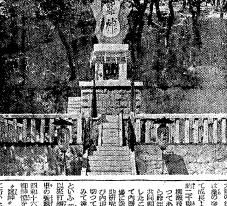
給制質に関したるべき方策が何」 機関肥料とを別価に決定してあた でなかんづく従來無機強肥剤と何 金鑛遊休施設 半島黒鉛の大増齢を目指して、去しことになった 牛島黒鉛の増産

風林計畫委員會肥料配給開整部會

東
巫統商物の生蔵設備能力の増殖
・ 込み類の状態施設を完備せしめる
・ 本意が休施散を測測関内に導入し
・ よる源休散備を観り受け、二首ト

産繭増産進軍器の

禁密を 独引した 禁密を 独引した



五月十一日から同十五日にかけて

| 東京の||促し、加小のに知な、超減部長、間|

/窓神/が祀られてある金羅南道

は滔對供出出來るものと思なれる 以下は現地で見版した報告である

金融に唯一つといはれる類の神様 全南『長城』の巻

度つて連続、笛の僧付、蕨川等四級期が一塊に押し寄せる苦しい條件の中にあって脚の増産に敢闘する

機構特温員記】顧酬なる類温と好條件に思まれて本年度整線の作的は昨年の不作を職飛して稀に見 大既作が豫趙され既に開、中鮮方面は盛しい収繭と共同販質に最後の思力を掛けてある、昭若は十 知事以下も出て督勵する各道

陋習を打破して新技術の注入

桑肥料にも決戦調

年間人発育家は四千四百戸、う一本郷である 十五枚以上を飼育し約三階が半導

◆ 的種稿 利量 ラクビ

収譲であった、吹鰯は五日から畑。 る方法として道智局が倒発な七ケ のであった、吹鰯は五日から畑。 る方法として道智局が倒発な七ケ

平りの鯉を生養に祭宿

ら『白い飯を』などとは如何なる

野培園る赤美麗牌の郷かな ・ 日本雑談)七月廿日(火)郷切 ・ 日本雑談)七月廿日(火)郷切 ・ 日本祖の郷かな

満洲銅の委託精錬

公定價一斤 八十五圓

長開城視察 鹽田農林局

採鑛施設の完備へ

へ』『急降下爆脱機』等を移入 文化だより してゐたが、

廿五 三日

名餘十六拔選の組名・花・雪・月

演公旦 野風娘道の海の一番 明確水脈出出深東的小天 四至產 图9 化主 市山东花 公上 特显影響 城區 透 取 見 里 文美郎 司 國春 显然 采 京月 李 庄 章 良 华, 它 里 子子 正 子子 里 子 瓦 苏 子 子子 子

脚へ大郎 兄が何元司の 五日間 ビッケノ音が出 工修三一郎子演第へ昭は 大郎日 脚്ないが

拾終日登記

夢 說代

ら石城死守 温味

本府で統制事務管掌 明獻金井工獎株式會社(京城南)

する時には質らない。
とけ連用し、せねばならぬこを
だけ連用し、せねばならぬこを

朝日映圖 7.7

習性にまでなつてあ **ゅらのを打破するこ**

一般になってゐる。一般になってゐる 死月には對切 ルー

記

撒布資金吸集

現下の燃料を開いたのでは、 の更整度着を破壊するため第八十 は朝鮮石油新能販売者配より一個 給か一般船舶に到しては遠径高が の無難の着を破壊するため第八十 は朝鮮石油新能販売者配より一個 給か一般船舶に到しては遠径高が の無難の着を破壊するため第八十 は朝鮮石油新能販売者配より一個 給か一般船舶に到しては遠径高が が燃料を回じませた。

理論を登録と

廿四日 封切 示日文化映画

一般内唯一の大型連船所たる釜山頭一型隣に至り、寮川郡守から窓内の一 川郡守以下の出迎へをうけて開盟。四十三分藩が軍で來開、林府野、寮

攻郡長以下を際同廿三日午前九時【明城電話】禁田殿林局長は岸徹 の面の田種状況を概分後、自動車でのの野川状況を配案、既に開画、西

· 表达 180

/15

一般下には、 既くも母后陛下の

は株、被服などがあ

質に大きな御奉公になって來る、

はせ運動もかかる見方からすれば

廢品利用 更生 も間に合

一一」生産力を増

あった。では『金』についてはど 公であり間接的な概力増弱手段で 然しこれは『物』についての御奉 · 奈良館話】伏見宮故博撒王妃朝

会り数単合金

奈良縣御巡

を御観察の御ため、廿日午後

機械、燃料、電力な 要不可缺のもの、こ 要不可缺のもの、こ でかある

て來る『金』にようて品物の聲り うか一問題はやはり「金」に盛つ 質ひをしてゐる以上『金』の問題

生語維持の肾のもの

を解決せぬからには國民生活は確

他人の腰を続くことは君子の馬す

生計費を捌けてみょう、

ひといふものは相似たるものであ ことである、他については多日を

者ほど食嫌に金をかけ過ぎてある

また数へられることは收入の低い

任居数はずつと安くなつて來る、

出て、この位統消化の赤賊に動放射性はさんたちも一役買って

・・・これについで廿五日は映畫

住居数はこの場合官官であらうが

びかけて貯留版に織力無制を解 その一枚は則即の値です 往く人々に『傲毅如何です、 しい概にのせて街頭に進出、道

これが官吏以外になると年間人の

次に朝館における内館人館給生活

八國五%▲社會費出國二%▲そ

品を安くかつ物籍させることであ 大艦國際のうちで装も終くを消撃 が何とかして自己の生活を膨胀し ◆ のをとることである。生活必然 自髪を失つたりするからである。 刀打ちの出來ようはずもないのだ 力は迸り出るのだ

生活切詰めの餘地はあら

とくに決戦下女性の活動に

れてより 引題き 宮城内臭竹寮

こ面移り選切さる くことになり

産力は増强しなけれ 石に帰りついても生

強化するうへにどうしても後廻し

ばならない、生産力

に出來ないところのものである、

三番町六番地一八の御假舞 せられてひたすら仰修発に

き見情報を御出門、機井内職には廿三日午前十時半御名秘 同僚長らを従へさせられて御

期戚に勝てないから

い頃頭なくしては長

はどういふ方面に消

とすれば、どうしても三の図民間 振り向けられる戦闘を増大しよう 総局限りある生産力から一や二に

生産力増強にふり向けるべきなの関や買加・活から滲み出る関民総力を繋げて得当がゐるからだ

かくて保証され安定された図成生。 むらうか、 間や質溜めをする不心 なウマイ語は終り聞かないではな

國民生活の保證なくしては生命 『幸」からさる』財歌になるので、て月給か二部になったといふやうざせることも耳が問題である。 着は一人も あるまい、 では何故 物質が二部に駆動したからといっが同時に就後の國民生活を安定 へこそすれ、乏しきを遵へてある。 キュカことはサしてなったといふやう

紹楽してあるのではないか―― の 電を吹いて場を求めた形、これ 今 では離る穏砂をは出來ない、も さ は、雑強強強の居にバラ振か

%となってある、收入の半敷以上

銀行、金融組合、曽社員が街に

出して虚気登出しに大量の 朝鮮金融頭所閣の男女

かなされてゐない、しかも千個以下でも一〇%

何か――『物』と『金』との均り、縛ってゐたり蹤ふ園域であっとの、れた給郷生活者がこの人たちと太である。では國域生活の安定とは「だらうか、不必要に深山の現金を「プつかせてゐる。迦白もある。聚ら

れの半島

間や買溜めは何故起るの。所謂地鑑潔氣に源つて變に金をダ

いか、にも知らず國民の一部には

は今春女子県智院御卒業あらせ

四日を別して各除は村を駆けて

通じての題しい内壁一熊の間

仕期間中から得た世界

神と僧園法を土西に、

國神胜、伊勢神宮に参拝して七月

七月六日から八月四日まで卅日間

問、宮城遙飛、明治神宮、蛸

持ち高く、いまこそ割ちあがつ「農業製園電年除は毎年内地に送つ帰る計では決議下駿亭半局の路」ことになった。これまで郷野店は

照宮成子內親王殿下

魏町御假寓所に御住居

らん格のを新たにしたが**、**殿下十萬縣民は盛って昼恩に聞い挙

召田、長野四城の間村に世間され 虚穀別にある内地の出掘軍人及び

悪治を流した 部幣時級歌

機刈びに一ケ月間接長

元の大型

[1]

るところは、カルメンそつく

足でもたくさん金融をはめてキラ

阿部暦にのつてゐる部をみ

ひき、ゆつたりと扇子を使ってる。すつがりマライの恩婆で、手でも



領てゐる女でも宴會などにはそれ

解る前にある長官の夫人が私に一

歩いてゐるやうです、だから、クマ めて折ってあり、ぶるで関鍵で姿

級は乳らないけれど、上流の人は

語る人(いろは順)

うなものですね

へば衛生的ですね、節めるもの真

南方の限は衛生的とい

和歌木山

~

住の年間人二萬二千名は挙先駆起

土地等は粗末なものですよ

水の中に女が坐つてある感じで、 ンドンのやうに被つて攻勢に既を

役つて…上流婦人はこれで顔をか

衆を慰らせ寄切って安島の海勝風

五分【嘉眞二

人が毎月献金山口在住半島

あゝいふのはこちらでも流行させ

美州だから服袋を見ても階

一ラの町には紺がたくさん落ちて

は至極お粗未

段く 上衣が **窪川** 乞食も着てゐますね、

晨村中堅百名を初の派遣

『通道記さり』 成蹊、は今度が視めてで、これら一ひして二百年節九時半から薔薇府・賃備や海軍 成蹊、は今度が視めてで、これら一ひて二百年節九時半から薔薇所(悠える中島) てゐたが、この《臨村中閣世紀集』 百名の代表は七月一日景城と郷瀬 一蔵陣に活躍するところに大きい期 待をかけてゐる、かくて選ばれた 道に錬成して闘郷の上は、その部 の殿村中宮若人が内地の昼國殿民 落の推進中核賦として決職食組増 一大玄媧則において鹽田塵林局長か 舉行、それより真摯攻闘の決意も ら器の除旗を授與される治隊式を /朝鮮神宮に参拝、 脳低所以政 を帰郷間するとともに、これか の聖城をふるふ半島出身の開拓民間別の天土に務み、雄々しく増蔵

め、越低的が派遣する。全局題村 氏は出鏡に際し、瞬頭でその決意 時廿分、第一班は同十時京城跡を 班に分れて第二班は廿三日午後六 中国人物湖洲開拓民龍黎圏~は二 心に石川殿の九谷標叢と提那して 陶器製造會社

世日、全賦一層に大祓の能が執り一盟では大祓の儀に先立つて廿九日一家鉄成部長主案の下、手水、融融 卅日・全鮮に、大祓の儀

れからの開拓民の資質向上に一左のやうな注意を襲した、 國家祭祀たる大被の儀の趣旨に欲 して反省を促すと共に、愛國班にして反省を促すと共に、愛國班に 榊の団揚が叫ばれてゐる決駁下、 織力験盟では國民権

歴に 迦田 脳長以下全職 鼠集合、大一一・回職 根その他により事前に難し日は午後三時から本府内事効 前前 を執り行ふ

て勝利なし

殿宮内外の大清掃を行ひ卅日の笛

大成副孫間、修被の順で敬願な式

一 日を敬���しなくこと
 「一、各級校、総行、會加、工場帝
 「一、各級校、総行、會加、工場帝
 「一、有事に関して変なった」と
 「一、有事に関して重なる形式に流
 「四、行事に関して重なる形式に流
 「四、行事に関して重なる形式に流
 「本版は動も力は採りとり永遠
 「他版するぞう指導すること

總力聯盟が趣旨で實踐を强調

陇遙拜、明治神宮、靖陵神社、伊 を破って闘郷の途につき、途中宮一参拜後、同日午前九時半から本所 まで火の錬成をなし、同五日六原 原道場に到着、六日から八月四日 **樹原陣宮に参拜、特に**つてゐる 御殿にも参拝、十一日朝京城に瞬 着、たゞちに朝鮮神宮に協選奉告 大玄関前で解除式を行ふことへな

半島拓士を激勵 本府派遣の視察團出發 松の任に皆って資本金三百萬國の 亚に陶磁器工業組合聯合領の斡旋 変術を移駐して道臘が直接指導監

勢神宮・

等めたい客へてゐる、一同細心 の注意を拂つて恋分今度の目的 を違します(葛貞=縣頭の半島 腹村中堅人物演幣開拓民能察園 一行) 朱乙金田溫泉附近

ある高嶺土、長石を採用しておそ 状料は道内に無監臓に埋戦されてに約十萬年の買収交渉が成立し原

DANKE ON SE **大相撲の名機りを惜しむかのやう**

載である、従って設立戦闘中の満 電板追溯(戦撃司令官は)戦闘を開発して、十枚目土俄入りの午後、一時半年でが九州山陽の河東休場が別制し 機関も大衆席も折重る人の波・一 除第士はけるも西側席にいつ に、京城場所を六日目廿三日は升 勝負毎に恣意の緊握の波、在城部

津九谷焼窯株式留社は新曽社に統

今秋清津に新設

ずることが出来ないので、南工省の代替物たる陶器製造の需要に限 過ぎ金原国牧に必要な真鍮食器 板垣將軍も

八方山、脳瀬川を寄切り 中入後京城場所初登

山、柏戸を打つ棄つたかに見えた 開州山を 用出し 拍手を 浴び、 神東

車から物質ひがついたが成立せず 名寄、相模を打つ難り、これ又小 療主催の場ば展を見速し したいと思ってゐます と語った は折から死城中の大相撲東宮古、 数院道場で株舗で主催して度の名本町三丁目子供相換大會は例年期 九ケ鍼、咸陽山等を招き廿三日午 物となってゐるが今年の土後開き 抗む子供相撲や背年紅白試合に腕 五時から開戦院で駆行、隅取に 本三の子供相撲

本社寄託献金

一人**沒曲大會**

鐵始與那西面歐田始與閩山內

良藥のんで 病気怖れず

すくく

よくねむり 元氣で遊び

伸びるのだ! 丈夫に

哥

■ 大十一萬一千七圓九十八銅也 ●九十一萬一千七圓九十八銅也 三十二萬一千七圓九十八銅也

旨に副ふべき現地質情に即しる大被の後は行はさるも之が る大被の後は行はさるも之が る大なのでは行はさるも之が

ぜん息神經痛 高血壓 中風 B國! 日本高大合資會社 原語日本博宝町交叉監角

今津博士の素晴しい研究 ふるひシピレなどが最悪の危険も

では、 の選手側以上半島人官吏 質線出 人被源弘の高端を鑑に遂いて 第五千四百九十六側として▲食 中でわる、内地人疾派における経 の選手側以上半島人官吏 質線出 人被源弘の高端を鑑に遂いて 第五千四百九十六側として▲食 中でわる。

員が戦る日本女性の意気を耐々

○四四%

に同じく半島人家庭の被服型の高

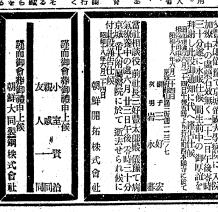
括題をとけた

を食び強し

一五%▲光熱蛋二九八圓五%▲

三三四國六%▲被殿發八二六四料發一五〇六國二七%▲住居劉

以下十三%、四千體以上十五%、三千個以下九%、二千個以下十一%、四千國



ハ原に錬る農魂 らね、平常は洋服を一女の人が、パリンタワークの観ぎ「恋を置ってゐる所をみましたが、「で緘レース位でせら、"。るでが王線の「うね、マニラでみる馬車に襲った」で慇懃の先生等が寄り集って日本「一金をかけてゐない、)き/で京城線を出後、五日、

 対
 対
 大
 が
 、
 が
 、
 大
 が
 、
 が
 、
 大
 が
 、
 大
 が
 、
 が
 、
 大
 が
 、
 が
 、
 大
 が
 、
 が
 、
 が
 、
 が
 、
 が
 、
 が
 、
 が
 、
 が
 、
 が
 、
 が
 、
 が
 、
 が
 、
 が
 、
 が
 、
 が
 、
 が
 、
 が
 、
 が
 、
 が
 、
 が
 、
 が
 、
 が
 、
 が
 、
 が
 、
 が
 、
 が
 、
 が
 、
 が
 、
 が
 、
 が
 、
 で
 れ
 が
 に
 が
 の
 ら
 が
 の
 が
 の
 が
 の
 が
 の
 が
 の
 が
 の
 が
 の
 が
 の
 が
 の
 が
 の
 が
 の
 が
 の
 が
 の
 が
 の
 が
 の
 が
 の
 が
 の
 が
 の
 が
 の
 が
 の
 に
 の
 ら
 の
 ら
 の
 ら
 の
 ら
 の
 に
 で
 の
 に
 の
 ら
 の
 に
 で
 の
 に
 の
 に
 の
 ら
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で
 に
 で

 に
 に
 に
 に
 の
 に
 の
 に
 の
 に
 で

 に
 に
 に
 に
 の
 に
 に
 に
 に
 の
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 に
 夫は見えませんね、マライあたり 金をかけてゐない、精々いゝのと金をかけてゐる誠には着物には 美川、さういふものに、うんなんか促つてゐますね

る、町の中の川でサロンを穿いた に肌を見せるのを非常に恥かしが でも足首を一寸見せるだけ、 つてゐるのね、マンデーをする時

色は單色で見た感じは綺麗 マライの服は下はサロ で、前を合は で、前を合は た、向うは足を出すのを失識に思 リ島で小座校の先生の運動台を 配けられない バンツを穿いて來た女の先生が一 夫人や令嬢がたくさん灰てゐまっ二ラの劇場に行つたら上流の もどんなものでせうかしら、 倦いて、頭もぐるぐると卷いてしたが、その時はたパサロンを

一般かけさせ、荷物も入れるし、 いかけ、赤ん坊を抱く時は赤ん坊 美川あの稲は雨が降ると配

窪川 向うの女の人が頭から

窓岬には傘の代りにもなる けてゐる、そ

内地へ届つて米たら省線の中で

通りマラツカ迄、四ケ月ジヤワ、パリ路、マライを受け、パリ路、マライを 空川稻子氏==マラ 変、メナドに滯在、マニラ 変、メナドに滯在、マニラ 変、メナドに滯在、マニラ グ月フイリツピンに補在 阿部 艶子氏――約五

際さんの著典をして題を耐からか

若い娘さんは インドネシア

ジャワでは自戦車が流

文田野 医外凹 體 錦木之孫 倭 岩 孫里歸 有明(不職勝ち)九州山三原山(寄り切り)大郎山

點呼の日當を献金

春川地區開農助呼ば本年度は

本現、アツツ島に於ける王卒勇士 の樋口政次郎氏以下六十餘氏は山 と、監呼助手数名の手賃金冊九四 し回<footnote>
別に行はれたが、これに参加 で廿三日本社を通じて海軍へ國防



随へて肚丁の 自婦

が のでは、 の

O I I

收著療法

大阪関ケをお真様十二枚組入の開係では、大阪関サでは、大阪関サでは、大阪の関サーの観光の開発が、大阪の関サーを対し、大阪の関サーを対し、大阪の関サーを対し、大阪関サー組を引き、大阪関サー組を引き、大阪関サー組を引

爽香 か味が

徳用品!

經然が清 濟か强辯 的もく力

金属半煉の

導解**建**事鑑**張** 決**命**百定

を種類、腕章、帽章、徽章 美術品面では、島一周 美術品面では、島一周 美術品面では、島一周 美術品面では、島一周

一頭「脳過勞者の必辨薬」ノーシー

十一時迄に西氷脳河岸

部回收令の赤紙に膨へて腰省の戦

注意せよ傳染病

「大学」「他の際でも選挙しなね」 見事に完了

依然こ多い發疹チフス

とスタンドが建つたのは、京城運

一・遠承區間謀局 — 人道橋する、大帝県領は左の通り 棚間に貯食選添大會を開催

職く海第志願兵側に備へて

足是正を別して毎月数回これが指し 【仁川】少行も決戦調でと監保安

征け米英撃滅

京城運動場の鐵柵やスタンドも應召

代表して経路塔に國防航金の手摺 給の手営金九個六十銭をク私すべ

港内の水泳

生徒の田植 京城保育校

直せ足の亂れ

道徳を注入

版の

開放しは禁物

頻發の盗難に備へよ

人造氷六千噸も

冰

üye edi

0

備

あ

n

重點に 配給機構の

日 名は瀬郷の排版を扱うて一幅けし 四郷郷版質館松木己男全しほか二 四郷郷版質館松木己男全しほか二

職満を拠し次の如く際告を被して 一般語に属する方針の下に道整察

風紀取締を强化

水登浦署の方針成

次のやうな要項で飲食、料理製造 次のやうな要項で飲食、料理製造

前題した監質斯仮の二気を

警察官心取組 钞

「お前は同志を残したのだ」

採用

の旗綱双葉山も可像な県道には他一な著は沼道だー」と優しい親心、『文代を質問でオー、ドツコイショ』と天下一撃なく、戦はされる。『文代を質問

双葉《教習所の土俵開きへ

は艶々が、治い笑をうかべて立つ」 と、張は蛇の毛を纏りながら、 は、しつかに岸へ歩をうつして、その場から迷がすと、彼

東本(2) 四四七番 (金元年の時間 東一 産 業 社 (金元年の時間 東一 産 業 社 (金元年の時間 東一 産 業 社

『ほゝゝ、あたしは、美々の顕歌

ピアノオルガン 原城信本町二丁日 原城信本町二丁日 像 御 郷

古着頭が

四番「江南衣服店」「田村県京和」「田村県京和」「田大学、河口県大観りに、一部一県大観りに、一部一県大観りに、一部一場大観りに

雲点ス

パチンコをぶつ放したつて死以信にたうとう記を吐いたね。いくら 『さう。 裏題語は、 裏の動じつや

新利紹介的

月やく 東局(5)|

(5)二、七八六番 第1市四本町へ。厚生、第 第1市四本町へ。厚生、第 第1市開通 第1市開通 日性病

靈蓮思版 加于傳波松風 **太月一日拍额** 戰時債券當簽番號表 (第/四)

(番號表中太字 / 回別、括弧內/則均等級設金額) 66834 67380 680*4 68888 69765 70.244 71.057 72.180 73.285.0 74474 79.052 66930 67384 68171 68887 69800 70.311 71.114 79.206 73.376 73.813 75.748.6 66930 67684 68171 68887 69800 70.311 71.114 79.206 73.376 73.505 70.350 6 (金等)五国务五国 等(金拾国参拾国

北坡 ● 武田發賣品間 方名人文金公皇 生理障害… 蔣施、疲勞便怠 感感、疲勞便怠 100錠 200錠

















19007 | 194356 | 194356 | 194356 | 194356 | 194356 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 1943575 | 19

よアツツ魂 五五ノ一金山岡曾従業は一 生活刷新へお達し

一元化

三日間は禁煙

朝

京日案内



人なる祭

一秀 悌吉(繪)

瞬間、悪魔のやうな形相に確つ

日本人金井銀蓮の仇、あたしな、

彩音野町二丁91

男女募集

建築修理

大日本紡績以下、東京電腦計劃以下

板梁松玉香大吉三岩松新選

の自然は遠郊配料を傾はうとする 的だと言うてある、ところが朝鮮 になるのは皆り 料は内地の半分しか便のてゐない

ふ三が出來ない・親切に一々面倒し

收量の差は人の差

小作爭議は跡を絕

で了ふ、だも近頃は金肥が無いの時に高熱病にかゝつて縁目になっ 金肥を入れたがる、だから肝胃な

でだんく、堪肥ぞやるやうになっ

信者を置いてゐる所と置いても、

鹽田局長 やはいやらせる

鹽田局長金品的には金の 森田氏と繁の指表方針と

はいゝが、それがなければやって

は実無人も高いてお前に土地を、とと言金肥が集らない。といっと『珠を飾つて豚の腹を一て用上げで了った。今では十何 瀬迎すと金肥が集らない』といって、 明彦かの自分の所有地を作って 瀬迎すと金肥が集らない。といって、 供源は田舎で小さい一杯 てゐた

が出て來た場合に新次改造する、

方でやったらどいふことを研究し

不在地主の處置は難しい、からい 公無自党な

巡中は一つ

土地管理の

話を聞いてゐたら何時間でもから

企业室長 兵頭 傷 陽田正洪

森田正義 中井一夫

事識はなくなつた。

ばならん。さついふ人間のゐる所を見てくねる内地人を付けなりれ

い所では約一額收置が進ふり

で開始面も人間の無成に協資すると

主が澤山ゐる、取ることだけしか。納の上つて來るのを待つてゐる部

聞いてみると、関係では前線階肥一ひきれない、例へは肥彩の金を借

りようとしても合語手級を要する

鳳にやつたので、後に「てゐたが、この正月に私の所に來」に留るの恋が、それが」の「献立部にかこつてゐるといっに確るの恋が、それが」の「献立部にかこつてゐるといっにからればいると國ぐ別任官に」け出して「厲倒、家だめとの三分

回してそれだけあげたのだ、

許智だが玄米を四石一斗六分

の條件が述ぶ、それで小作委員會

肥価も描ぐといふやらにやってめ

死て一家で願いてゐる。 そこ

中井氏。含うするとやはり一ある、京城にじつとしてゐて小作

進半島の質相納替機動動談會

鹽田局長 まいふことに

脳師軍の欧洲上陸作戦を強制する

殿の間から第二殿殿に関する庭問 が出たが、海軍長官ノツクスは『

年

ピルツ 剤化

二手足のシビれに油斷は禁物!!頭重、不眠、耳鳴、舌もつれ

呈進書明說

最新學說。急所、血壓中心の故障を止める 聖い中風、半身不随に

特殊ホルモン補給療法とは?

る語を時當 氏治岩川宮

社報日城京 第音 所行發

泰、國民革命成つて十一

平山

5

敵國戦線異狀あ

騒然たる米國の

が機械すれば製鋼業は磁大な打

関が棄物するに至って革命路に

國際聯盟の影響に楽しタイ

局型壓中軍

の原衛生産が戦災傾向を示した国 を認るだらうと述べたと限へられ

心人物は何といつてもプラヂツ

一部左と解されよう、今回の単議が **信半にして早くも吸綻を誘** ルトの労働政策が開放以來一年 獨機英本土を猛爆

年爆撃機隊が廿一日夜英國泉部・

のでは

そ、飲かさずハリ 不足しがちな夏と

戦時酸力……の確保に 夏まけせぬよう… 淡落にめげず物け るよう…… A.D.の

西部戦線で活躍

を撃墜

^{凯道報ル聲朝・Ⅲ主} 展習演道報軍鮮朝

英勢力が大東距から完全に一掃



(

を訪問約一時間半に立つて玉弥 日午前九時廿分内郊省に安践内に東京電話】田中政済経歴は廿 大臣ご要談



質用夫装、(下)と素図度物館(上)(情報局療園者)魔器 ツキーズと変渉を重ねてゐるが未

火は電爆路機廿七機を整盤した旨

い他デトロイトにおけるフォード「内にきに七十一機を変突したこと」かれて第一回要含ませ四日午前十分でにウイローラン機踏機工場を「西部脱級において確かせ二時間以「が季度されたが、これが観合せき 金を研究。これが具態数を得るた され小山松露氏ほか卅七名の委員 會選麼に関する開査委員會が設置

がは、古一の所日敷回にのたりガグルカナル島の米軍陣地を爆撃した廊里百象が、「ニーノジアイレス世」日剛型、メルボルン深電」西南太平岸茂鶴殿野司令即は日本航交部隊 【ペルリン甘三百同盟】ソビエー の廿二日長文の賦明を破談、その ト情報局は幾ン開職二周年記念日 際赤町の扱源は極めて控へ目に を通ずる赤軍の損害を破死行方ソビエート情報局は過去二ケ年

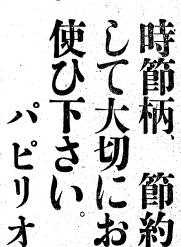
荒鷲が川島を連爆

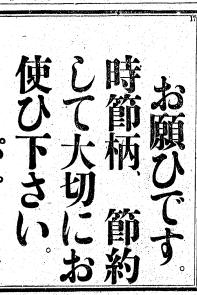
【南京廿二日回盟】國民政府軍 集圏軍總司令に

て來たといふことを聞くともう | 酸に内地でもさうだがい作立法を |

やるに一番面倒なのは土地に各種

◆波遊器日子氏(朝鮮林楽問顔能





総帥ジョン・ルイスは内務長官 炭坑爭議依然續く |だ||解決の曙光が 見えずルースペ||各工場が罷験を開始したとい て進退開難の窮地に陥ってあると ルーズベルト進退喇難の窮地 駆き金げた、このタイ國人の歴史を職した國民革命が成就してから早くも十一年、アジヤ人未然の便田でテヤクリ王朝の寡領政治を衝戮し、近代的立憲君主政権を慰せし「タイ國人のタイ國」の漢石を 革命記念日を前に管時を追溯しながら『國民茂命と光英の策励』につき次の如く取りた 館に目覚めて米英味力を完全に駆逐したタイ園は、いまや米炭軽減の征威完多に逃避する盟主日本と 一九三二年六月廿四日諸時パンコツクに勃發した國民革命は、何ら流血の後を見ることなく、他 門生災死の運命を扱って大東臨共衆の繁土確立に一路突進してあるが、この新し台階史を作った國民 【バンコックヤ三日同間】王族の攻衞政治、英宗の侵略、趨傷の軍壓等國内不奨の階階勢に反抗 米英の策謀畫餅 對日友好關係を促進 |ペルトが誘じてある動策はイツキ| 審社代表の如きは、 の大勢を推定するに難くないが、 道に徴しても滔々たる米國労働界 以上の離局に営面して現在ルーズ は强力な反循軸空軍爆團機織隊が ンゴニロ同盟 | 顕電電間| 獨空軍 間の豫備後を廃してゐるに過ぎな いて明始されたものであっか、勢 議會運營安員會 事機関係の機関として設置され は來る廿四日の第十一回 あす第一回會合

行ふこといなった 赤軍の損害二千萬以上

阿田龍長から挨拶あつてのち本本

時から院内職長順接撃に開き、

異質の運感方法につき種々打合協

リ聯密明を反駁

命先はフランスときまり四月

もつて正式競表した に任命すること、なり廿二日附を た配例助上將を第廿四集團軍振司 令に、また孫殷英中將を同副司 会員會では過級國府解歴に参加

膓チフス、赤痢 傳染性腸疾患 腸カタル、下痢、 常習便秘、 消化不良、 株式 武田長兵衛府吉 禁 神戸湖生質線所



先年帝化別成舎を組織して、

帰等の御道商署川

に入つた 結果排成質の 随答を更 調査研究の 報告 競表あり、際談 いで同意融資長宮内酸太郎氏から 一個、會長村上九八郎氏の挨拶に次能に 私談六十餘名の 数談會を開

り関係の本発順に道道半局の職立 史質が 脳々として 潑児されるに及 に関して來た結果、有力なる 考試 御遺徳の顯彰へ

淨化期成會の陣容强化

名が《朝鮮金融閣》の匿も関々しなら同館行員男子十五、名女子八

7本店臨時優勢質出所には朝九時

後六時の蛮上落足時間の織上庁跪。本識須攻引所の新徳足により徒衆。道の時間に放棄する後、時もしい限り、各領領法域では平。【東京電話】日本放逸城曹では日し、今後は重要經濟革戦のふを報

經濟通信放送廢止

來た經濟通信を七月一日から廢止

街頭國債戦、戦果擧る

校の宣行さど、府内十一ケ所の臨

職」を命せられてゐたが城大の城力に → 含ぎに鄭蔵治足を受けた懸彦夷門。(M

その敗革に皆ることにな

四 見と概常なる部論を有する辛島 四 見と概常なる部論を有する辛島 四 振原東四殿 使なりの数音内容の であったが高速なる跳 てねごものであかが高速なる跳

うにも考へられるが梭長の撤壊を 力を與へる上に於て時宜に適した

は、 へ 国防戦争した、 同金 報は去る 五 世界 は 一 日本戦争 は 三日本戦争 連 して 海戦 日本戦争 連 して 海戦 日本戦争 は 一 日本戦争 は 大る 五 一 一 日本戦争 は 大る 五 一 一 日本戦争 は 大る 五

田積弧労作業を貨施して得たもの

實戰即應の

の機甲訓練始る の職職に耳を傾け、二日目と三日訓練を受けるが初日はり機印刷

江原道廳員の赤誠

應へて一路増産服に挺身すべき上 金負が當日午後一時から

校長に辛島氏紫就任

は『國信假祭購入日』である。こ

は関民的語心の暗痛さを反映して



青年陳賛

敬神崇祖の

しては職をみひらいた削職である

共存共榮の精神を體

心身の修養」「潜は数を」ない下で一家の業しが開、雑能ない下で一家の業しが開、雑能ないで一家の業しが開、雑能ないで一家の業しが開、維能ないで、一家の業という。

週間証 ~ 皮膚科・化酶症

0 帝國

石

媼

果をあげる監悟である

然與改成

コヘすへんでゐるで の 断天を 望んで、 を恐れたからです。

神教教人中北回其工院推出,或强问其问题◆不问其 化人说:注例可以的提供的对数的不多可能的方式 多考点是是多考验是否是多数的重要是要是

半島農報隊は學る [3]

一体みの際にも道路の歌層を

見るもの

7

\$P

手

番の一畝留に平均玄米三合五句 小作人と地主の關係

売売充果 | 主要もな | 引、工業免売を変変を 本・主主 | へるよう | 引、工業免売を変充を

公 告

切封 庭 秀 雄
 子章 見並

 子少く出立

 子数相友國

 自 日 分 佐

 上 校

 上 原

 子 ク

 日 日 日
 切打週 一系自 三路 普朗







行貯金受入係の窓口】

ら首相官邸において運野法記官長 京城大相撲(昏)

買氣沈滯

の首である」

船員の職能申告

も來る十五日迄

かの 市況 軟

地を管轄する海洋署叉は同出ー經過しないもの二、申告先居

式株

は自身大阪外面マライ南部出身 陸軍部諸安に貴氏、森投人は次 を一次第2位を中で高度格庫中等級 九日宝でに同時登緒銀へ甲込め はよい

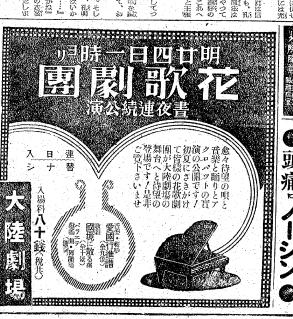
抗菌・造血・衰弱 恢復の三大作用で 結核治療力を著骨

一室で第二回マライ部 八姆まで二姆間学)

後

或

参の師出 【177】





●頭痛・ノーシン